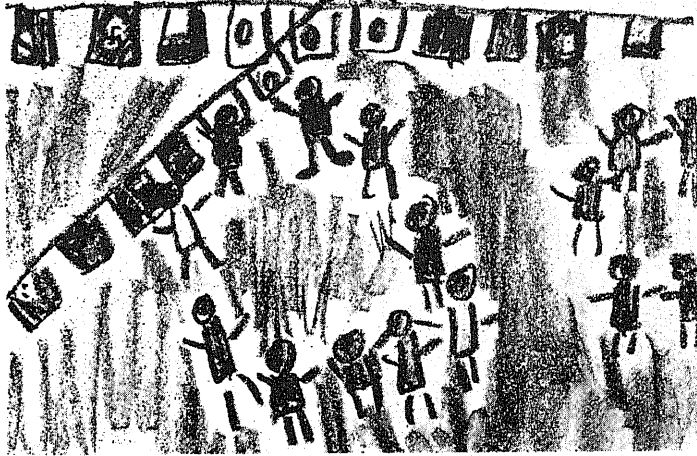


秋
晴



幼稚園の運動會

東京女子高等師範學校教授 佐々木 等

一 園兒に取つて運動會程楽しい

一日はないであらう。萬國旗が校庭に張り巡らされ、風にへんぼんまひらめく秋の小春日に、彼等は、かけつこに、おゆうぎに、球拾ひに、達留磨運びに嬉々として勇ましく或は無邪氣に活動をなす様は人間花輪であり、花園である。

園兒達の世界に、此の運動會程印象的なものはないであらう。

三日も四日も前から、その日の楽しみを待ちあぐんで居る。彼等は『かけつこ』に於て誰が一等にならうと皆自分が一等になつたものと思込んで居る。此の

時代は自己擴充の時代であるからである。

彼等は極く小さなこころでも頗る偉大なるものゝ如く感得する時代であるから、運動會に於ける會場のつくり方でも、裝飾の仕方でも彼等の心身の發達に適應したものでなければならぬ。その設備、その裝飾の刺戟が、彼等の將來に對して何等かの示唆となる様な潜在觀念形成の助けとなる様なものであれば更によいであらう。

運動種目の如きも、彼等の心身の發達に最も適當したものであらねばならないであらう。『かけつこ』の如きも、出發から、決勝線まで走るこころも決して悪いこころではないが、出發線から出發して、再び出發線に戻るさいふ様な方法が子供の心理に合致して居る様に

思はれる。即ち、折返し競走の如き方法がよいではないか、彼等元の位置に戻るさいふこまは本能的に可能なることであるからである。

『おゆぎ』にしても、あまり複雑な動作を要求することは適當でない。何故なれば幼稚な時代であるからである。

競争的な遊戯にしても運動量の大きな、又、體力を大いに要する運動や、巧緻的な運動は之れを避けなくてはならない。

即ち、運動は極く簡易なもので短時間間に済む様なものがよい。

而して、運動會の時間は長くて三時間位とし、それ以上にならない様にすべきである。あの時代の子供は運動によつて疲勞するさいふよりは、長時間に亘つて、同じ様なこまを繰返すことに倦怠を覺へるものであるから、適當なる時間でなければならぬ。その適當なる時間の長さは二三時間のところ

であらう。

それにしても屢々變化を帯びさせなくては注意を持續せしめることは困難である。

二

運動會は、一つのお祭であるから、皆樂しく氣分を揃へて行ふ様にありたい。それには、先づ第一に、お辨當が子供達の好きそうなものであつて欲しい。おやつも適當にやる様にしたい。

大袈裟な樂隊などは必要がないとして、子供達の好きそうなレコードでもかけた時、時には風船玉を擧げるこま、なぎあつてよいと思ふ。大人の様に、體力を練る運搬競争を行はせるなぎあふこまはよいこまではない。

御褒美なぎも、一等や二等のものにばかりやるこまなしに、出場したものは全部與へるさいふ様にすべきである。その品物であるが、それは時にはキャラメルの如きものや、ゴム球の如きものを與へるこま彼等は喜んで一層

喜んでなさうとするものである。

彼等は御褒美を貰つた積りで満足して居るものである。かくして一日の運動會が彼等の生活上に好影響を與へる様に導かれるならば、彼等の將來に對して必ずや立派なる効果を期待するこまが出来てあらう。唯、注意するこまは、彼等は常によく水を呑みながらのものであるから、彼等の發育の爲めの自然的欲求として要求されるものなる此の水は適當に與へてやらなくてはならない。但し、良質の水でなくてはならないこまは申す迄もないこまである。

水質の悪いものは、身體の健康に悪影響を與へるものであるから充分注意しなくてはならない。

又、此時代はよく、下痢や、風邪氣味のものが多くものであるから、そうした身體的に故障のあるものは、見物席に居らしめる様に命ずるか、休ませるがよい。

尚ほ、健康なものであつても、運動

中に、顔色の蒼白になるものなごのあ
るものであるから、指導者は常に園児
の顔色なごに注意して大事に至らない
事前に之れを發見し、適當に處理する
ことを忘れてはならないのである。

運動會の當日は、看護婦か、醫師の
急救所を設け、萬一故障者の出た場合
には、早速手當をなし得る様にしなく
てはならない。以上は運動會に對する
極く一般的のこゝを述べたに過ぎない
のであるから、更に、實際にあたつて
は、細案を立て、それが圓滑に行はれ
る様にせなければならぬのである。

幼稚園の運動會は特に和やかな氣分で
行はれる様に立案せらるべきであつ
て、飽迄も、女學校や、中學校なごの
如きものであつてはならない。何處に
なくゆさりのある。然かも、引締まつ
た運動會でなければならぬ。

終始神經質になりそうな音ばかり出
したりしないで、時には雄大を感じし
める太鼓の音なごも聞ける様にするこ

よいと思ふ。子供が、こうした雰圍氣
の中に活動する時は少しも飽くこゝな
く、運動會の目的を果たすこゝが出来
るであらう。

要は、子供達をして如何によく活動
せしめ、如何にして喜ばせるこゝが出

幼稚園に於ける運動會と遠足

東京 瑞穂幼稚園長 土川 五郎

一 運動會

幼稚園で運動會が必要か否かの論議
はさておき、先づ現在では之を爲す所
させざる所がどんな割合であるかは詳
しく調べた事もないが、園庭の廣さが
之れに適して居る所では行はれて居る
所が多く、之れに反して狹隘な園では
行はない傾向である。

其仕方については小學校と大差なく
唯小さくやる所も、遊戯會と名付けて
居ても學校臭い大人の計畫が多分に盛

來るかといふこゝを主眼として立案さ
るべきではあるまいか、即ち、子供本
位に立案されるならば必ずや效果的な
運動會が出来るであらうこゝを信する
ものである。

り込まれた所も、又全く學校と離れた
世界を作られた所もある。

運動會の季節に入つて自分の姉兄が
學校で運動會があるか近傍の學校で
行はれて居る場合に、幼児が要求を持
ち出すのである。即ち其外部の刺激か
ら來る。

或は母も運動會を見に行く。場内高
く裝飾旗が掲げられ、周圍の紅白の幕、
地上には圓形や縦横に描かれた白線、
歩武堂々ミレコードに足並を揃へて整